

福祉環境委員会記録

令和3年11月9日（火）
09時58分～10時58分
全員協議会室

【委員】小川委員長、足立副委員長

村木委員、村武委員、柳楽委員、岡本委員、川神委員

【議長・委員外議員】肥後議員、大谷議員、川上議員、牛尾議員

【福祉環境委員会 所管管理職】

〔健康福祉部〕猪木迫健康福祉部長、久保健康福祉部参事(新型コロナウイルスワクチン対策室長)、藤井
地域福祉課長、板本健康医療対策課長、湯浅健康医療対策課副参事、
龍河子育て支援課長

〔市民生活部〕森脇市民生活部長、土谷資産税課長

〔上下水道部〕有福上下水道部長、谷口工務課長、大上下水道課長

【事務局】中谷書記

議題

1 執行部報告事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症関連の状況について 【健康医療対策課】
- (2) 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について 【新型コロナウイルスワクチン対策室】
- (3) 「休日応急診療所」及び「病後児保育室」の移転に伴う市役所での開設終了について 【健康医療対策課・子育て支援課】
- (4) 基準地価調査の結果等について 【資産税課】
- (5) 第2回 金城地域断水防止対策住民説明会について 【工務課】
- (6) 令和2年度末 汚水処理人口普及率 【下水道課】
- (7) 市街地下水道整備事業について（浜田処理区） 【下水道課】
- (8) その他

2 その他

【議事の経過】

(開 議 09時 58分)

小川委員長

ただいまから福祉環境委員会を開会する。出席委員は7名で定数に達している。本日の委員会は改選後初めて執行部出席で行う。福祉環境委員会はこの7名となっている。よろしく願います。

資料については事前にタブレットに配信しているので、執行部からの説明は補足のみとしている。質疑答弁については簡潔明瞭に願います。

それではレジュメに従って進めていく。

1. 執行部報告事項

(1) 新型コロナウイルス感染症関連の状況について

【健康医療対策課】

小川委員長

執行部から補足説明はあるか。

健康医療対策課長

1番目の新型コロナウイルス感染症患者の状況について。8月は市内初のクラスターにより97名の感染者が発生している。9月も勢いがとまらず56名、10月も高齢者福祉施設等でのクラスター発生により50名の感染者となっている。ただ、11月に入ってはまだ感染者は確認されていない。

2番目の電話相談の状況、3番目の外来センターの状況については記載のとおりである。

小川委員長

この件について委員から質疑はあるか。

岡本委員

このクラスターが出てからの日々の人数、それから収束に至らなかった経緯を見たとき、今どのようなことをクラスター発生施設においてはされているのか。個人的に憤りを感じていた。

このことは市長また部長の答弁では、県の指示に従ってやっているの状況が見えないといった回答だが、このたびのクラスターが収束に至らなかった原因を執行部は何か把握しているか。

健康医療対策課長

市内の高齢者福祉施設でクラスターが発生した。ただ、現在既に保健所にて幅広く検査されて、クラスターについてはとりあえずおさまったという認識で私はいる。県も多分そういった認識でおられると思う。確かに情報等がなかったということはあろうかと思うが、やはり県で感染者については把握し、情報は県が一律管理されて、感染の恐れがない方については連絡がないことになっている。クラスターについては今のところおさまったという認識である。

岡本委員

今の話を聞くと、結局は状況が把握できてないということだろうと思う。今後、例えば、ほかの学校やいろいろな企業など、いろいろなことがクラスターになったときに、どういう対応をしたらいいのかということについて、このたびの状況は何ら参考にならない。要は、こういうことが起きてこういう対応をしたということが、一つの形に。できなかつたとか収束したとか、きちんと浜田市として

- 把握しておかないと、企業や学校関係の要望には何ら形にはならないと私は思っている。このクラスターについての反省に基づいた次のステップを何らかの形で方向づけてほしい。
- 健康医療対策課長 繰り返しになるが、保健所に話を伺うと、やはり基本的な感染予防対策を徹底することが重要だとのことである。いろいろな施設も感染予防対策を行っているが、そういった中でもクラスターが発生した。ただ、基本的にクラスターは発生したが、感染予防対策をきっちりしておくことが大事だと、保険所長から伺っている。
- 柳楽委員 風邪の症状と本人が勘違いされていて、それで感染しておられた方があったという情報があった。そのあたりについて、なかなかわかりにくい症状なのだと思うので、市民にも、風邪と思うような症状であっても、できれば何らかの相談や検査をしていただけるような体制を取ることが必要なのかと思うのだが、そのあたりについてどういった対策を考えているか。
- 健康医療対策課長 こちらも保健所長からの話だが、ワクチン接種が進んだ結果、無症状もしくは軽症の方が多くなってきている。風邪だと思っていたが実は検査してみたらウイルスに感染していたということがある。発症から陽性確認まで時間がかかっているということが、浜田市内での陽性者の増要因ともなっていると伺っているので、少しでも症状があれば必ず早く医療機関を受診し、これまでどおりの感染予防対策の徹底をお願いしたい。また市も市長メッセージ等々を通じて、徹底していきたいと思っている。
- 岡本委員 学校に対して抗原検査キットの配付がある。例えば福祉施設には、そういうものをそろえるようなことも、一つの予防策であるのだろう。そのことについて、担当課として少し考えてみてはどうか。学校の保健室に抗原検査キットを用意して、少し熱があるなどの生徒に対して養護教諭が検査する。
- 健康福祉部長 福祉施設やいろいろな企業に対して、この辺のあっせんや紹介を試してみたらどうかと思うのだが。
- 国から介護保険施設、高齢者福祉施設、保育所と幼稚園、併せて希望のところには同じように抗原検査キットを配った。希望したところには配っているが、なかなか利用されてない。保育施設などは調子の悪い子どもさんは最初から来ないようお願いしているので、施設で直接使うことは今まであまりなかったと今回確認している。
- 介護保険施設については、今まで浜田ではクラスターが出ておらず、利用がなかったようだが、国から配付されているので、今後は職員が異変を感じたときなどは必ず使っていただくように周知していきたい。
- また今回クラスターで日々たくさん出てきたような感じだが、もともとの高齢者福祉施設のクラスターから出ている。保健所が全部検査して、最初は陰性でも、このウイルスが増殖していくのに4日から人によっては1週間かかり、4日目、5日目に具合が悪くなると

ということがあって、そこでもう一度検査して陽性になる。同じ高齢者福祉施設の中で、徐々に2人、3人追加が出て、ずっとクラスターが続いているような感じだが、今回のクラスターは続けてなのだが違うところから2か所出て、その中でおさまった形になっている。

今回の感染を見てみると、家族にもうつっていることがある。またワクチン接種が進んでおり2回接種した方は、前のように突然高熱が出たり嗅覚の異常が出たりなどの症状があまりないようなので、その点から病院になかなか行かないところもある。先ほど言われた抗原検査キットをしっかりと使っていただき、検査を進めるよう周知したい。今後このようなことが起こらないように、施設の方も注意していかれると思っている。

柳楽委員

今回高齢者施設で感染者が出て、その利用者が結局利用できない状況になったという話を伺った。それが割と長い期間利用できないようで、その間どうしようと悩んでおられるといった話も聞いた。勤めの方はずっと休むことはできないと思うので、施設で感染者が出て、利用できなくなった場合の受け皿についても考えておく必要があるのかと思ったのだが、そのあたりについてはいかが考えているか。

健康医療対策課長

クラスターが発生し、施設が利用できないということはあったかと思うが、同じ法人の別の施設で対応していただけていると思っている。ただ、どうしても利用できないということになると、県で他の法人からの協力派遣という制度もあるので、そういった制度を使われて利用が途切れることのないようになっていると思っている。

柳楽委員

そういったことで市に相談があったとか、介護に関連している職員やケアマネといった方からの相談は特になんかということか。

健康医療対策課長

今回の件に関しては特に具体的な相談はなかった。

足立副委員長

今のに関連してだが、ほか事業所からクラスターが発生した場合に、職員の派遣等があったかと思う。主導は県が指示等されるのではと思った。実際今回、法人から県や市に対して、ほかの事業者からの人員派遣要請などの相談は特になく、あくまでも数日間閉鎖だったような気がする。それで一応終わったという形で、そういう流れでよかったか。

健康医療対策課長

おっしゃるとおりである。

小川委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

では質疑を終わる。

(2) 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

【新型コロナウイルスワクチン対策室】

小川委員長

執行部から補足説明はあるか。

健康福祉部参事

資料1ページの接種状況についての地域別接種実績の欄に、市全

体の接種率を記載している。資料では1回目89.8%、2回目85.5%となっている。これは11月4日時点の内容であり、今朝一部の新聞で市町村別の接種状況が掲載されたが、あれは金曜日の状況である。昨日時点では、1回目が90.0%、2回目が86.6%となっている。接種は大変高い水準であると思っていて、希望される方にはある程度、充足できるような域に来たかと思っている。

小川委員長
川神委員

この件について委員から質疑はあるか。

執行部におかれてはワクチン接種に関してはさまざまな課題がある中で、積極的に取り組んでいただいていると評価もしている。何点か確認しておきたい。

まず1点目、ワクチンの副反応。ここまで進んでくるとおおむね浜田市も接種の先が見えてくるということだが、今まで把握している副反応に対する情報はどうだったか。

2点目、ワクチンを接種しない方、これは全国的にワクチンに対しての否定論者が一定数いる。国はきちんとしたエビデンスをもって進めているが、市内で受けていない方は、たまたま受けられていないのか、一定数そういう方がおられるのか。もし情報がわかったら教えてほしい。

3点目、2回目の針刺し事故があった。1回目もそれなりの指導をされたと思うが、こういったことがあってはならないとは重々承知であろうが、今回は別の医療機関で起こった。改めて行政から医療機関にどのような指導をするのか。協力していただいている以上、厳しいことは言えないかもしれないが、万が一のことがあるので、このあたりの危機管理体制はどうなっているか。

最後に、今さらだが個別接種が始まり、間に合わないから集団接種を併用した、これは臨機応変の対応だと思うが、振り返ってみたときにその方法はどうだったのか。もしコメントがあればいただきたい。

健康福祉部参事

1点目のワクチンの副反応について。大きな影響があった場合には医療機関から市へ報告が来る。報告は数件あるが、多大な影響があったという事案ではなかった。結果的には、発熱したり倦怠感があったりということは多分にあったかと思うが、その域が少し大きかったとか、接種時に気分が悪くなってそこで休んだということはあった。

2点目、ワクチン接種をしない方や受けていない方の中で、希望はあるができてないという方があるかの把握はできてない。ただ、そういった事案があった場合、連絡いただければ個別対応で、高齢者の方で介護事業所と相談し、できる方法を一緒に探した事案があった。相談いただければできる対応を一緒にする形で進めている。

3点目は針刺しの関係の事故について。ご指摘いただいたように市で2回あったということで、大変難しい状況だと思っている。1度9月にあり、その際にも市中の医療機関には注意喚起を行ったと

ころである。このたびも事例としては全く同じような形だった。改めて注意喚起も行うが、うちでもすぐ注意事項は取りまとめ、保健所にも相談して、こういった要素も加えればという指導もいただき、それをもって各医療機関には重ねて確認いただくようお願いしたいと思っている。

4点目、市の全体の接種体制について。個別接種を主体として行い、後に集団接種を加えた形だった。これに対して、担当する立場としては、振り返ってみてよいやり方だったと思っている。1週間当たりで4千から5千件くらいの接種が進んだときもあった。正直、集団接種を主体で押していれば、これだけの接種はとてもしなかつたと思っている。市中の医療機関、全部で36、37といったところで精力的に対応いただいたおかげで、接種が進んだと思っている。また個別接種を行うことに関しては、ワクチンの小分けあるいは配送といったところで、関係する機関にも大変ご協力いただいた。多くの方々との連携の中で、途中ワクチン供給が滞り非常に苦しい時期もあったが、よいやり方で進んだものと私は思っている。

岡本委員

2回目の接種率について報告を受けたところだが、3回目について市長会から国へ陳情されたという話を伺っている。今の状況をわかる範囲で示していただきたい。

健康福祉部参事

今回資料の2ページ目に非常に若干触れている。まず9月の終わりに3回目を行うということが国から示された。ただ、その時点では、12月から開始したいと。対象は2回目接種から8か月を経過したもの。その範囲はまだ定かではなかったが。あと使用するワクチンも、今まで1、2回目で使ったものをベースに考えるが未確定という話だった。

その後先月、2回目接種からおおむね8か月経過した方全員を対象にするということが国の専門家の分科会で方向が示され、まだ正式には決まってない。今、少しお話しした程度のことが発信されているが、具体的に予防接種法の改正は多分今のおりでいくと12月1日に施行ということになるはずだが、まだその案も示されていないし、自治体に対しては11月の中旬には説明会をするということなのだが、いまだにいつあるのか示しもない。ただ恐らく今までいっている内容でいうと、資料に記載しているようなスケジュールで行われるのではないかと見込んでいる。具体的な内容がもっと示されれば、今回規模感がかなり見えているので、早い段階でスケジュールを明らかにしてお知らせをしていきたい。

岡本委員

状況がわかればまたご案内をお願いします。それともう1点、私のかかりつけ医で、新型コロナウイルスワクチン接種が行われているが、今11月で例年ならインフルエンザ、これはどうなのかと話題になった。インフルエンザについての影響であったり、インフルエンザに対する助成、補助はどうなっているのか。

健康医療対策課副参事

昨年度はコロナ対策ということでインフルエンザの任意の接種部

	<p>分の助成をかなり増やしたり、定期でやっている高齢者についても助成額を増やしたが、昨年から今年にかけてインフルエンザの流行がないので、今年度は例年並みに戻して65歳以上の方は定期の予防接種として実施するのと、1歳以上12歳、小学校6年生までの助成も1回千円を2回という形の例年どおりに戻している。</p> <p>インフルエンザワクチンの供給量が、今年度10月、11月に普段より少なくて心配したが、全国的には少ない量ではあるが、接種も予約をされて進んでいると伺っている。</p>
<p>岡本委員 健康医療対策課副参事</p>	<p>市民に対する周知はどのようにされるのか。</p> <p>1歳から小学校6年生までは接種券を郵送している。そのほかについては、広報や医療機関にポスターを貼らせていただき、例年どおりのインフルエンザの助成方法で実施しているということを広報している。</p>
<p>岡本委員 健康医療対策課副参事</p>	<p>最後にこれは執行部が把握されていればだが、例年、このたびはこういうタイプの風邪がはやるといった情報が出るが、その辺はどうか。</p> <p>例年インフルエンザワクチンを製造するときに、こういう型がはやるであろうというのを組み合わせて、同じインフルエンザワクチンでも毎年いろいろな型のもを入れていく。詳細は覚えてないが、今年の流行を予想したワクチンが供給されている。</p>
<p>村武委員 健康福祉部参事</p>	<p>インフルエンザワクチンを打つ場合、コロナのワクチンを打つから例えば何か月あけないといけないとか、そういうのがあるのではないかと思う。ホームページのインフルエンザワクチンの案内を見てもそのところが書かれてない。そのところをお聞かせいただきたい。</p> <p>インフルエンザと例えばコロナワクチンの併用はできるのだが、13日間、2週間をあけるのが約束事である。</p>
<p>村武委員 健康医療対策課副参事</p>	<p>そのところもできればホームページや、インフルエンザのところに載せていただくとよいのだが。インフルエンザワクチンを接種するときに医療機関に予約されると思うが、そのときに確認はされるということか。</p> <p>インフルエンザの予防接種をするときも予診票で必ず、ほかの予防接種を受けた期間の確認がされるので、医療機関で確実に確認していただいている。</p>
<p>小川委員長</p>	<p>ほかにあるか。</p> <p>(「なし」という声あり)</p>

(3) 「休日応急診療所」及び「病後児保育室」の移転に伴う市役所での開設終了について **【健康医療対策課・子育て支援課】**

<p>小川委員長</p>	<p>これについては12月定例会議に議案提出の予定となっている。したがって事前審査にならないようお願いしたい。執行部から補足説明があるか。</p>
--------------	---

小川委員長 (「なし」という声あり)
 事前審査にならない範囲でどうしても聞きたい点があれば受けるので質疑をお願いします。質疑はあるか。
 (「なし」という声あり)

(4) 基準地価調査の結果等について

【資産税課】

小川委員長 執行部から補足説明はあるか。
 資産税課長 9月21日に基準地価調査の結果が公表されたことについて報告したい。表が四つあるので少し説明させていただく。
 基準地価についての説明は中ほどの囲みに記載しているが、都道府県知事が毎年7月1日における標準価格を判定するもので、適正な地価の形成を図ることを目的に行われているものである。浜田市には21地点がある。
 (以下、資料をもとに説明)

小川委員長 この件について委員から質疑はあるか。
 岡本委員 固定資産税の評価の状況で、この中には3年に一度の評価替えをするとのことで、令和2年の1月1日に基準を決めておられるが、今全体で基準地価調査という名前でこれをされる。毎年されるのが基準としてあって、浜田が固定資産税の評価をするときに毎年あるものを基準として評価しているのか。この中では3年に一度、評価した基準を決めているとっている。ここに基準を決めるが、その3年に至るこの中の評価というのがあるのだろうか。その平均したのがこの3年目のここになるのか。

資産税課長 評価替えは3年に一度やる。評価替えで一番影響するのは家屋なのだが、家屋は3年に1回、3年後を一度に落とす。土地に限っていうと、この基準地価調査は毎年7月1日に発表されるが、去年の7月1日から今年の7月1日までの下落・上昇の数字を見て、次の年の評価替えに反映させている。下がれば評価額を下げるし、上がれば上げる。上がった場合は評価替えの年に合わせて上げるので、その場合は3年間は据え置きになる。

岡本委員 整理すると、下がったときにはその評価を使うが、上がったときには3年経過したらその評価で見ようということか。

資産税課長 そのとおりである。

足立副委員長 土地の課税状況の推移、最後の表を見て、非常に下落率が大きく大変驚いている。これは当然、市の固定資産税に対してももちろん反映して収入が減ってくるかと思う。今から例えば5年先という部分も担当課としてはきちんと考えた上で、固定資産税の収入見込みも含めてきちんと計算されているのかどうか。もし大体されているのであれば、この5年先はどれくらいの下落率を見込んでいるのか。

資産税課長 最近、土地に関しては下げどまり傾向にあるかとは思っているのだが、2年、3年前は3%、4%の下落があった。言われるように平成21年度から令和3年度までの評価額でいうと、20%も下落してい

る。平成5年からいうと3分の1くらい。60%くらいの下落率が駅前の方の土地では起こっている状態である。

やはり住宅地の評価に関する影響というのは、雇用や賃金、交通の利便性などいろいろあって、人が集まってくるところは上昇傾向。浜田市だけではなく石見部全体に言えることだが、人口減少だったり交通の利便性がどんどん悪くなっていくということで、減少はしていくとは思いますが以前のように1%を超えるような現象にはならないと思っている。5年間でいうと毎年0.5%から1%の間くらいで推移していくのではないかと見込んでいる。

小川委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(5) 第2回 金城地域断水防止対策住民説明会について

【工務課】

小川委員長
工務課長

執行部から補足説明はあるか。

第2回目の説明会については、9月30日から10月5日の4会場で行った。人数が少なめだが、これは新型コロナウイルス感染状況により、各地域の行政連絡員プラス1名まででお願いさせていただいた結果だと思っている。内容についてはここに書いてある主に6点を説明し、説明用資料も参加者や回覧するという方に配付した。

(2)の3番、補正予算が可決され今福でつくっているタンクだが、現在タンク本体の工事は完了している。その周辺の配水管工事を今行っており、予定どおり1月には供用開始できる。今は少し早目、年内のうちにタンクが使える見込みが少し立ち始めたところである。

(4)止水栓台帳の整備の進捗状況も皆にお伝えした。今、内部で報告書が上がってきたものを現場に持ち出すための整理を行っているところである。参加者からの主な意見も反映しているが、今後の取り組みについて、ケーブルテレビで10月に工事のPRをさせていただき、併せて11月、12月の検針時に、配付していないが黄色い凍結予防のチラシを一緒に投函させていただく。その上でもう一つPRチラシを今作成しており、そのチラシをなるべく多くの皆、全戸に行き渡るように最終調整を行っている。おおむね順調に進捗している。

小川委員長
岡本委員

この件について委員から質疑はあるか。

3番の参加者からの主な意見の中の凍結防止水栓という表現が私にはわからない。このことについて説明をお願いします。

工務課長

説明する前に5月、6月のところで地元実態調査アンケートをした際にそういうご意見もあった。今配っていないが、地元説明会的时候にはこの冊子を配った。私どもが調べたところ、蛇口の上の部分だけを交換するというものがある。通常蛇口を締めておくと水がたまってそのまま凍ってしまうのだが、一番上のハンドルのところだけ外してここに書いたものをつけて締めておく。気温が下がり水温が下がると、中に金属ばねが入っていて、これが水温で金属の膨

張・収縮によって少し開いて水が出る仕組みになっている。温度が上がると金属が伸びるので止水するという商品である。地元の皆さんには説明したが、市で購入してつけるものではないのでホームページには今は載せていない。ただチラシでお配りして皆に周知し、つけていただければと地元で説明した。

岡本委員

私は個人的に買って見た。うちの職員にも見せている。私の家の外の蛇口につけてみようと思っている。実際どのくらい水が出て、どのくらいでとまるのか。金額はインターネットでの購入金額はここに書いている。市内で買うともう少し高めの金額と聞いている。

工務課長

私も初めてこのものを聞いた。課長の説明では自分の家でテストしようということで、話を聞きながら思ったのは、今福ではなく市内の給湯器が凍結したことについては、この処置で対応できるのか。

私が説明したのは蛇口の上を交換するものなのだが、実は説明会ではもう一つ、低温作動便という同じような仕組みで、これを給湯器の水を抜くためのコックがついている先端あたりにつける商品がある。同じく温度で、金属ばねで。ただ私の家に屋外給湯器がないので試せないが、市の上下水道部の施設でつけられるところにつけて検証しようとは思っている。併せて市内の方から何かないかということであれば、水道業者に聞いてみていただければと。工賃を入れると少しお金はかかると思っている。これで対応できるかを今年検証しようと思っている。

岡本委員

よいものができたのだと思う。カタログのその他に、こういうことに使われるという案件があればご案内いただきたい。

工務課長

先ほど申し上げた、金属ばねで開閉するタイプで蛇口、給湯器につけられるものがある。それから、寒冷地ではついているのだが、水道の栓そのもので二つコックがついているが、蛇口を1個締めるとその水道の中が空っぽになって凍らないものがある。それ以外はこれまでも何度か報告させていただいている、ヒーターを巻くとかになろうかと思う。その間に調べた中で、一番費用として安くできそうだというのが先ほど申し上げたもので、自分でもしかえられるのであれば、ものだけ買えばできるということでご案内させていただいている。

小川委員長

ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(6) 令和2年度末 汚水処理人口普及率

【下水道課】

小川委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

小川委員長

この件について委員から質疑はあるか。

岡本委員

普及率 48.1 から 48.5 ということは 0.4% の変化である。汚水処理とはいわゆる公共下水道処理場の説明だろうと思うが。普及は 0.4 しか進んでいない。しかし実際担当課では合併浄化槽をどんど

- 下水道課長
岡本委員
- 下水道課長
- 柳楽委員
- 下水道課長
- 岡本委員
- 下水道課長
- 岡本委員
- 下水道課長
- 小川委員長
- ん進められている。この数値はこの中に入らないのか。
- こちらの数値の中には合併浄化槽を含んだものが入っている。
- そうすると、今市内でも私が知る範囲の確認申請の件数はそれほど落ちてないと思っている。そうすると、前は単独浄化槽だったが今は合併浄化槽でしかできないという状況の中で、その件数約100件くらいと認識しているが、そこに反映されないということは、100件くらいではことにならないのか。
- 昨年度実績は110件切れるくらいだったと思うが、そのみの上昇でしか今浜田市で普及率を上げる方法はない。したがって令和元年度末から令和2年度末に向けて約0.4ポイント上がっているが、こちらは全て合併浄化槽設置に伴って伸びたものになる。
- この後に出てくる下水道の整備があるが、まだまだ先で令和9年度に始まるという話にはなっているが、それができた場合にどの程度まで普及率が上がるのか、見込みを教えてください。
- 市街地の公共下水道の整備の完了時点で、うちで見込みとしている数字は約58%。これは公共下水道のみではなく合併浄化槽も含めている。
- 市街地の下水道整備をこれからされるが、このたび私も松原や殿町を回っていく中で、かなり古い建物が解体され新築されている。合併浄化槽が設置されているが、公共下水道を整備する中で、このことに対して、接続の考え方、合併浄化槽で例えばこれから先5年後にこれを説明しなければいけなくなったときに、その方々が接続すべきなのか、合併浄化槽をそのまま使っただいてよいのか。考え方についてお尋ねする。
- 下水道が整備されたら基本的には下水道に接続していただくことになる。ただ、言われるように合併浄化槽が既に設置され、新しいものとなると私も既存地区等を普及啓発に回る中で、やはりこれが壊れるまでという声も聞く。ただ担当課としては整備したらぜひつないでいただきたいと考えている。
- 担当課で接続を進めるなら、今後、確認申請を出され、浄化槽の位置、それから今の本管を予定するところの接続の関係、いわゆる配管に関していろいろなアドバイスというか、設計者なのか水道業者かわからないが、そういうことはすべきだと思う。排水に接続しようと思うときに、そこに合併浄化槽があるとそれを壊していかないといけない。例えばそれを避けておいて、将来を考えたら中間から接続していけば公道に接続できるという考えは当然起きるだろう。そのことについて案内すべきだと思うが、考えがあればお願いします。
- 合併浄化槽既存のものがあるところに対して下水道につながるための、うちでいうと受け入れ用の枡があるのだが、うちが管工事等を設計していく中で、合併浄化槽に近い位置にそういった枡を設置するといったことで対応していきたいと考えている。
- ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

(7) 市街地下水道整備事業について (浜田処理区)

【下水道課】

小川委員長
下水道課長

執行部から補足説明はあるか。

まず進捗状況については2番に記載しているとおりだが、下水道の日に合わせた広報紙等を全戸配布して管路工事については官民連携を目指し、現在調査業務を行っている。

3番の今後の予定だが、(1)、(2)については記載のとおり周知を引き続き行い、処理場予定地の用地取得を行っていきたいと考えている。また(3)処理場の建設に当たっては管路工事と同様に官民連携を目指し基本設計と併せ業務を行っていきたいと考えている。

小川委員長

この件について委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(8) その他

小川委員長

執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ここで執行部からの報告事項について、11月15日に開催される全員協議会へ提出し説明すべきものを決定したい。まず執行部の意向を確認したい。

地域福祉課長
小川委員長

執行部からは(1)、(2)、(3)、(5)の以上4件を提案する。

提案いただいたが、この4点について報告ということでよろしいか。

(「異議なし」という声あり)

ではそのように決定させていただく。

2. その他

小川委員長

執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員からも何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、以上で福祉環境委員会を終了する。

(閉 議 10 時 58 分)

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

福祉環境委員長 小川 稔宏 ⑩